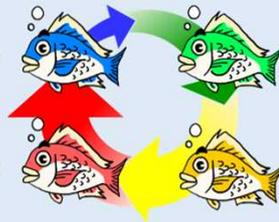


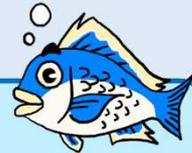
探究

BEFORE → AFTER



小学校第4学年 社会 ごみのしよりと利用

① 「課題の設定」のポイント



単元の計画や内容を考えさせたい

ごみ処理の学習を進める上で、自分たちの捨てているごみの行方を考えさせることでこの後の学習の内容を考える。

BEFORE：家でのごみの捨て方を考える。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 15分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 家庭のごみの出し方を話し合う。	一斉	◎ごみの分別に気付かせるとともに、なぜ種類別について出すのかに疑問を持たせる。
	2 自分たちが出したごみのゆくえについて予想する。	個人	◎Jamboardに「だれが」「どこへ」「どのように」運ぶかを書かせ、予想を共有させる。
私たちが出したごみは誰が、どのようにして、処理をしているのだろうか。			

ここを探究的に変えたい！

AFTER：自分たちの捨てたごみの量や、ごみがなくなった様子を見て、単元の内容を考える。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 15分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 画像を見て課題や疑問を考える。 ○「これはなんでしょう」クイズが紹介されます。自分たち一人一人が生み出しているものが何か考えながら見ましょう。 ・どこにでもあります。 ・増えると困ります。 ・3つに仲間分けされます。 ・特別なトラックに乗ります。 ・月曜日と木曜日によく見ます。 ・1人1日1kg出します。	一斉	◎Power Pointで問題を示す。 ◎曜日によって集められるものが違うことや、収集車によって運ばれていることを想起させる。 ◎大崎市全体で出る量が教室643杯分になることを伝え、ごみが増えると困ることを実感させる。 ◎「曜日」「種類ごとに違う日に集める」など、収集の工夫が分かるような提示にする。 課題の設定 
	2 自分たちが出したごみの処理のされ方について予想する。	個別	
私たちが出したごみは誰が、どのようにして、処理をしているのだろうか。			
	○自分たちが出したごみは誰が、どのようにして処理をしているか書き出しましょう。 ◆ごみ処理会社の人処理している。		◎Jamboardに「だれが」「どこへ」「どのように」運ぶかを書かせ、予想を共有させる。